

2012年(平成24年)11月3日 土曜日

県外関連企業も注目

LEDバレイ構想

近くの11社を県外企業が占める。県内への本格進出を目指して研究拠点を構えた企業もあり、県は今後の企業誘致に期待を寄せている。

(新居和人)

LED関連企業の集積を目指し、徳島県が進めている「LEDバレイ構想」に県外企業も注目し始めている。商品開発の支援体制が充実しているのが理由で、県立工業技術センター(徳島市)が4月に導入した高機能のLED光学性能評価装置は、9月末現在で利用企業延べ25社のうち、半数



評価装置は、昨年7月に策定したバレイ構想ネットワークステーション行動計画の一環として導入した。内部にLED照明を設置し、全方向に放出する光の強さを測定する「全光束測定装置」は、公設試験研究機関が所有する装置で最大。ほぼ全ての照明器具に対応しており、利用企業延べ18社のうち半数以上の10社が県外企業だ。

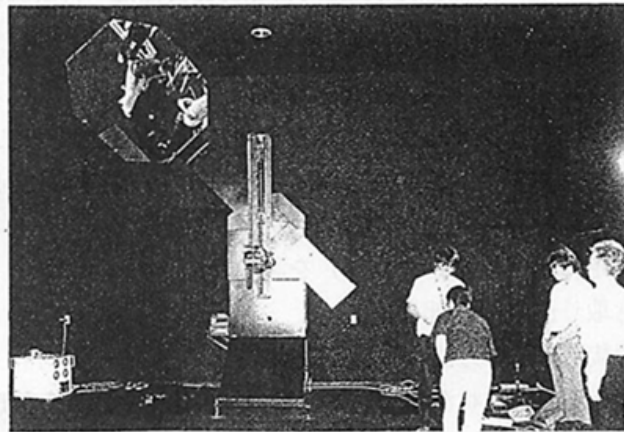
装置を積極活用

工技一
県セ

光の広がり具合を360度測定できる「配光測定装置」も西日本の公的機関では初導入で、延べ12社のうち県外企業3社が利用。工業技術センターは今後、照明器具の安全性を検証する装置を導入する予定で「高性能なLED照明の需要は高まっている。先進的な検査体制をPRして企業誘致につなげたい」と意気込む。

県内に開発拠点開設も

企業進出も進んでいる。電子製品・加工機器製造の「タカトリ」(奈良)は7月、工業技術センターに併設する産業EDの商品開発を始める。研究室に入居した。LEDバレイ構想では、産業D用サブファイア基板の切官の連携強化や企業への断加工機器で世界トップLED技術情報の提供に



県立工業技術センターに導入された「配光測定装置」—徳島市

も力を入れている。タカトリも県の紹介で徳島大学や阿南高専と共同研究の準備を進めており「研究施設や情報提供・技術支援も充実しており、新たなLEDビジネスを探求する環境が整っている」と話す。

県外企業の関心が高まる一方で、バレイ構想で集積したLED関連企業114社のうち県内企業3社が廃業、5社がLED関連事業を縮小または停止しており、継続した支援が課題となっている。県新産業戦略は「企業進出で徳島のLEDブランド力を高め、県全体の底上げを図ることで再浮上も期待できる。今後は企業同士の連携のあり方も考えていきたい」としている。